

**第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画（集落対策の推進）[素案]**  
**に寄せられた県民意見に係る本県の考え方について**

**1 募集期間及び結果**

この計画素案に関するパブリックコメントを実施したところ、次のとおり御意見が寄せられました。

- (1) 募集期間 令和6年8月23日(金)～令和6年9月24日(火)
- (2) 意見の件数 9件(4人)

**2 寄せられた主な御意見と今後の対応**

- お寄せいただいた主な御意見は、計画に対する感想と期待、集落対策の推進に係る要望でした。
- 御意見の概要と御意見に対する本県の対応・考え方は、以下の表1及び表2に掲げるとおりであり、今後、御意見を参考としながら、施策推進に当たってまいります。
- 表中に記載の御意見の概要は、趣旨を変えない範囲で要約し、同趣旨の意見は統合しております。

表1 計画全般に関すること

寄せられた御意見の概要	御意見に対する県の対応・考え方	該当頁
<p>現状の課題が、具体的に細かく分析されていて、とてもよい計画となっている。</p> <p>一方で、全体的に高齢者向けの計画になっているようにも見えることから、集落のこれからの担い手である若者や移住者、子供の声を反映させていく仕組みが必要である。</p>	<p>この集落対策は、地区・集落の方が、現状と将来像を共有され、課題解決に必要な取組について話し合いを進め、課題解決に向けた取組が行われることを想定しており、県は市町と連携し、こうした話し合いをサポートする専門人材を地区・集落に派遣し、若者や移住者など、より多くの住民が話し合いに参加できるよう促してまいります。</p>	—
<p>中山間地域の人口減少が激しい地域に住んでいるが、私たちなりに大事な事を守り、新たなものを取り入れ、【すべて無くなる】方向ではなく、緩やかな無住化となるよう、住民力、地域力を上げるために全力で頑張っている。</p> <p>この計画を見て、若者が、夢をもって頑張れるように進めてもらいたい。</p>		

表2 施策の推進方向に関すること

寄せられた御意見の概要	御意見に対する県の対応・考え方	該当頁
<p>役員の固定化が顕著になっている。行政の会議への参加、イベントの準備、地域対応など負担が大きく、次になりたい人が少ないのが課題である。自治会運営を持続可能なものとしていくため、役員の負担軽減、交代のルール作り及びメリット付などを通じた後継者確保や、若者世代の自治会活動への参加を促していくことができるよう、自治機能の広域化の模索などが必要である。</p>	<p>地区・集落の話し合いをサポートする人材を地域に派遣し、住民自治組織における合意の下で、活動の負担軽減を図るとともに、次世代の活動への参加機会の創出を通じ、住民自治組織と若者世代の交流を市町と連携して後押ししていく。</p> <p>また、地域の一体感がある範囲において、地域の実情に応じ広域化することが望ましい機能の検討などを促してまいります。</p>	P38

<p>今後益々厳しい状況になっていくことが見込まれる公共交通サービスについて、住民ニーズにマッチした、ドアツードアで移動できるデマンド型の交通手段、福祉的な観点からのライドシェア、自動運転バスの導入などを検討していくことも必要である。年々変わっていく社会情勢、人口減少や少子高齢化、運転手不足、利用したい人の点在化等に対応していくには、基礎自治体や民間事業者だけでは限界を迎えており、県の積極的な支援を望みたい。</p>	<p>鉄道やバス、タクシー等の地域公共交通サービスの提供が困難な交通空白地域において、デマンド交通や過疎地ライドシェアなど、地域が主体となって住民の移動手段を確保する取組を支援していくほか、買物や通院といった生活サービス提供施設へのアクセス向上に向けて、地域の関係者が連携し、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す取組についても支援してまいります。</p>	<p>P31、 P32 P43、 P44</p>
<p>空き家、空地に対する対策は、今後 10～20 年の間に住民のボリュームゾーンといわれる団塊の世代が徐々に亡くなられ、その子供たちのほとんどが街に出ている状況にあることから、早めに行う必要がある。</p> <p>現在、空き家、空地を放置している人が非常に多い。地域外に住んでいると、他人事になっているケースが多く、景観・衛生的にもよくない。相続者が管理する場合、管理しない場合、相続人が不在の場合などケースごとに適切な対策を考えてほしい。</p>	<p>集落が無住化した場合、地域が荒廃し、周辺地域へ悪影響が生じることが懸念されることから、無住化する前に土地や家屋等の管理を誰にどう託すのか、検討しておくことが必要であると考えております。</p> <p>そのため、地域のニーズを踏まえつつ、所有者及びその相続予定者に対して、今後の活用や管理手法などの意向確認を行う仕組みを、スピード感を持って市町と連携して検討してまいります。</p>	<p>P46</p>
<p>中山間地域の基幹産業であり、日本全体にとっても重要な農業に誇りを持っている。しかし目に見えて人口は減少し、高齢化が進み、耕作放棄地は増え、農業従事者も減少している。これから、地域計画を集落単位の話合いの中で作成していくが、どれだけ真剣に将来のことを考えて、現実的に夢をもって話し合えるかが鍵だと考えている。県も市町も本気になって住民を鼓舞してファシリテーションをしていただきたい。</p>	<p>現在、県では地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の策定に向け、制度説明や地域ごとの協議の場への参画等、市町及び農業委員会への支援を行っており、策定後も計画の実行と見直しに向け、県、市町、農業委員会の連携を強化するとともに、地域の農業事情に精通しているコーディネータの配置を拡充し、地域での話合いが進むよう積極的に取り組んでまいります。</p>	<p>P46</p>
<p>地区・集落の無住化が進むことによって、多くの人々の食と命を支える大事な農地が失われていくことは、中山間地域に暮らす人々のみならず、都市部に暮らす人々にも共通する課題であると認識され、中山間地域のために何かをしてあげようではなく、自分たちの命の根っこを守ろうとの想いで繋がっていくようになれば、流れを変え力になってくると思う</p>	<p>豊かな自然環境や農林水産物などに恵まれた中山間地域と、高度なサービス機能を持ち、農林水産物の一大消費地である都市部は、その機能や役割を相互に補完し合う関係にあり、都市部に暮らす方々にとって、中山間地域は関係が深い地域であることから、引き続き、中山間地域の価値や取組について、都市部住民への周知を行うとともに、中山間地域との接点が増えていく効果的な取組を検討してまいります。</p>	<p>P51</p>